

令和8年度
全国がん登録実務者研修会

兵庫県がん登録室からの お知らせ

～届出実務編(2)～
[演習問題【解説】]

兵庫県がん登録室
(公益財団法人兵庫県健康財団内)



この動画は、
先に問題を解いてからご覧ください

演習問題

甲状腺・子宮頸部・膀胱

演習問題



甲状腺・子宮頸部・膀胱

【解 説】

①甲状腺 55歳 女性

<参照> 部位別テキスト
甲状腺

⑮発見経緯

✗ 甲状腺は側性のない臓器

2025/06/06 のどにしこりを感じ心配になり、D病院受診。

⑪診断施設

2025/06/12 頸部超音波検査を施行。甲状腺に35mm径の腫瘤を認めた。

同部で穿刺吸引細胞診施行。

甲状腺周囲リンパ節に腫大は認めない。

細胞診結果 (Adenocarcinoma) 等から

甲状腺癌と診断。

本人の希望により、治療目的に当院紹介。

⑧原発部位

甲状腺に限局

リンパ節転移なし

⑯進展度・治療前
410.限局

2025/06/27 当院初診。

⑭診断日

超音波検査施行。甲状腺中央に35mm*25mm径の腫瘍あり。

2025/07/03 CT検査では、他の臓器への転移は認めなかった。

前医での検査の結果も併せ、甲状腺癌の診断。

手術を行うことを本人に説明した。

ここまで
が治療前

遠隔節転移なし

2025/07/23 手術目的に入院。

⑫治療施設

2025/07/24 甲状腺全摘術施行。

⑮外科的治療

2025/08/05 経過良好にて退院。

退院時、ホルモン補充療法としてチラーゼンを処方。

✗ 内分泌療法
術後の低下する甲
状腺ホルモンを補
充する目的

⑨病理診断

⑮診断根拠

【病理報告<手術>】 Poorly differentiated carcinoma

腫瘍は35mm*23mm径の低分化癌です。

甲状腺周囲へのわずかな浸潤が認められます。

断端に癌組織は見られません。

I:0/3、II:0/3、右IV:0/3、左IV:0/3、右V:0/3

(リンパ節番号は取扱い規約に準ずる)

甲状腺低分化癌
✗ 8020/3
○ 8337/3

甲状腺に限局

リンパ節転移なし

遠隔節転移・記載
なし=進展度・治
療前を反映

⑫観血的治療の範囲

⑯進展度・術後病理学的
410.限局

【備考】 Poorly differentiated carcinoma ,
8337/3 甲状腺低分化癌

腫瘍の種類

①甲状腺 解答

⑦側性

☐ 1.右 ☐ 2.左 ☐ 3.両側 ☒ 7.側性なし ☐ 9.不明

⑧原発部位

大分類

頭頸部、甲状腺

詳細分類

C73.9 甲状腺

⑨病理診断・
組織型・性状

8000/3 悪性腫瘍

「8337/3 低分化癌」が選択できないので、「8000/3」を選択し、備考欄に記載する。

診断情報

⑪診断施設

☐ 1.自施設診断 ☒ 2.他施設診断

⑫治療施設

☐ 1.自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明
☒ 2.自施設で初回治療を開始
☐ 3.他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続
☐ 4.他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診
☐ 8.その他

⑬診断根拠

☒ 1.原発巣の組織診 ☐ 2.転移巣の組織診 ☐ 3.細胞診
☐ 4.部位特異的腫瘍マーカー ☐ 5.臨床検査 ☐ 6.臨床診断 ☐ 9.不明

⑭診断日

☒ 0.西暦 ☐ 1.明 ☐ 2.大 ☐ 3.昭 ☐ 4.平 ☐ 5.令

2025年6月27日

⑮発見経緯

☐ 1.がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 ☐ 3.他疾患の経過観察中の偶然発見
☐ 4.剖検発見 ☒ 8.その他 ☐ 9.不明

進行度

⑯進展度・治療前

☐ 400.上皮内 ☒ 410.限局 ☐ 420.領域リンパ節転移
☐ 430.隣接臓器浸潤 ☐ 440.遠隔転移
☐ 777.該当せず ☐ 499.不明

⑰進展度・
術後病理学的

☐ 400.上皮内 ☒ 410.限局 ☐ 420.領域リンパ節転移
☐ 430.隣接臓器浸潤 ☐ 440.遠隔転移 ☐ 660.手術なし・術前治療後
☐ 777.該当せず ☐ 499.不明

自施設初回治療

観血的
治療

⑮外科的

☒ 1.自施設で施行

☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

⑯鏡視下

☐ 1.自施設で施行

☒ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

⑰内視鏡的

☐ 1.自施設で施行

☒ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

⑱観血的治療の範囲

☒ 1.腫瘍遺残なし ☐ 4.腫瘍遺残あり

☐ 6.観血的治療なし ☐ 9.不明

その他
治療

⑲放射線療法

☐ 1.自施設で施行

☒ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

⑳化学療法

☐ 1.自施設で施行

☒ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

㉑内分泌療法

☐ 1.自施設で施行

☒ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

㉒その他治療

☐ 1.自施設で施行

☒ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

㉓死亡日

☐ 0.西暦 ☐ 1.明 ☐ 2.大 ☐ 3.昭 ☐ 4.平 ☐ 5.令

年 月 日

備考

Poorly differentiated carcinoma , 8337/3 甲状腺低分化癌

②子宮頸部 60歳 女性

<参照> 部位別テキスト
子宮頸部

【現病歴】

⑧原発部位

✗子宮頸部は側性のない臓器

2025/03/26 Cクリニックにて、がん検診実施。 ⑮発見経緯
子宮頸部異形成の細胞を認めたため、
Cクリニックからの紹介状を持参し、当院へ受診。

【経過】

2025/04/07 当院婦人科を初診。
膣拡大鏡にて2cmの病変を認め、細胞診施行。
超音波検査では異常所見なし。

2025/04/14 細胞診の結果『Squamous cell carcinoma 陽性』

2025/04/23 円錐切除目的にて入院。

⑭診断日

⑪診断施設

⑫治療施設

2025/04/24 子宮頸部円錐切除術実施。 ⑱外科的治療

検査

治療

2025/04/28 経過良好で退院。

円錐切除術のみで治療が終了
⑯進展度・治療前
= ⑰進展度・術後病理学的

2025/05/07 円錐切除の結果、上皮内癌であり、腫瘍もきれいに
取りきれているので、 今後は外来で経過観察とする旨、
本人と家族に説明。

⑩病理診断

⑬診断根拠

【病理報告】 HSIL/CIN3

“HSIL” “CIN2”
のみでは
登録対象外。

腫瘍は2*1cmで上皮内にとどまっている。

切除断端 (-)

⑳観血的治療の範囲

【備考】 HSIL/CIN3

上皮内癌

リンパ節転移なし

遠隔転移なし

⑯進展度・治療前
⑰進展度・術後病理学的
400.上皮内

腫瘍の種類

②子宮頸部 解答

⑦側性

☐ 1.右 ☐ 2.左 ☐ 3.両側 ☒ 7.側性なし ☐ 9.不明

⑧原発部位

大分類

子宮頸部・膣

詳細分類

C53.9 子宮頸部

⑨病理診断・
組織型・性状

8077/2 扁平上皮内腫瘍、高異型度

診断情報

⑪診断施設

☒ 1.自施設診断 ☐ 2.他施設診断

⑫治療施設

☐ 1.自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明
☒ 2.自施設で初回治療を開始
☐ 3.他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続
☐ 4.他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診
☐ 8.その他

⑬診断根拠

☒ 1.原発巣の組織診 ☐ 2.転移巣の組織診 ☐ 3.細胞診
☐ 4.部位特異的腫瘍マーカー ☐ 5.臨床検査 ☐ 6.臨床診断 ☐ 9.不明

⑭診断日

☒ 0.西暦 ☐ 1.明 ☐ 2.大 ☐ 3.昭 ☐ 4.平 ☐ 5.令

2025年4月24日

⑮発見経緯

☒ 1.がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 ☐ 3.他疾患の経過観察中の偶然発見
☐ 4.剖検発見 ☐ 8.その他 ☐ 9.不明

進行度

⑯進展度・治療前

☒ 400.上皮内 ☐ 410.限局 ☐ 420.領域リンパ節転移
☐ 430.隣接臓器浸潤 ☐ 440.遠隔転移
☐ 777.該当せず ☐ 499.不明

⑰進展度・
術後病理学的

☒ 400.上皮内 ☐ 410.限局 ☐ 420.領域リンパ節転移
☐ 430.隣接臓器浸潤 ☐ 440.遠隔転移 ☐ 660.手術なし・術前治療後
☐ 777.該当せず ☐ 499.不明

自施設初回治療

観血的
治療

⑱外科的

☒ 1.自施設で施行

☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

⑲鏡視下

☐ 1.自施設で施行

☒ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

㉑内視鏡的

☐ 1.自施設で施行

☒ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

②観血的治療の範囲

☒ 1.腫瘍遺残なし ☐ 4.腫瘍遺残あり

☐ 6.観血的治療なし ☐ 9.不明

その他
治療

②放射線療法

☐ 1.自施設で施行

☒ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

③化学療法

☐ 1.自施設で施行

☒ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

④内分泌療法

☐ 1.自施設で施行

☒ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

⑤その他治療

☐ 1.自施設で施行

☒ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

②死亡日

☐ 0.西暦 ☐ 1.明 ☐ 2.大 ☐ 3.昭 ☐ 4.平 ☐ 5.令

年 月 日

備考

HSIL/CIN3

③膀胱 44歳 男性

<参照> 部位別テキスト
膀胱

【現病歴】

⑮発見経緯

2024/12/05 健診で尿細胞診の結果、疑陽性。
2024/12/20 膀胱癌疑いと診断され、当院紹介。

【経過】

⑪診断施設

2025/01/06 当院初診。
2025/01/13 初診時の尿細胞診の結果『urothelial carcinoma,陽性』
2025/01/20 MRI施行。

所見：腫瘍は膀胱内にとどまっており、腎尿管に明らかな
占拠病変は指摘できない。

⑯進展度・治療前

2025/01/22 膀胱鏡施行。

⑧原発部位

✗膀胱は側性のない臓器

所見：Papillaryな腫瘍が多数。

上皮内癌

リンパ節転移
遠隔節転移
=記載なし→なし

Taの膀胱癌の診断で、TUR-BtとBCG膀胱内注入を行う旨、

ここまで が治療前

本人と家族に説明。

2025/02/03 治療目的に本日入院。

⑫治療施設

⑰進展度・術後病理学的

2025/02/05 TUR-Bt、BCG膀胱内注入施行。

上皮内癌

2025/02/10 経過良好にて退院

⑳内視鏡的治療

㉕その他の治療

リンパ節転移
遠隔節転移
=記載なし→なし

【病理報告】

⑩病理診断

⑬診断根拠

Non-invasive papillary urothelial carcinoma , low grade , pTa

膀胱側壁、後壁、前壁からTURを施行。

腫瘍は全て非浸潤性のpapillary UC。断端は全て陰性。

㉑観血的治療の範囲

Ta : 8130/2
Tis : 8120/2
の組み合わせ

【備考】 C67.9膀胱(側壁、後壁、前壁) Non-invasive
papillary Urothelial carcinoma , low grade , pTa、
BCG膀胱内注入

腫瘍の種類

③膀胱 解答

⑦側性

☐ 1.右 ☐ 2.左 ☐ 3.両側 ☒ 7.側性なし ☐ 9.不明

⑧原発部位

大分類

膀胱、尿管、腎盂、尿道

詳細分類

C67.9 膀胱

⑨病理診断・
組織型・性状

8130/2 乳頭状尿路上皮癌、非浸潤性

診断情報

⑪診断施設

☒ 1.自施設診断 ☐ 2.他施設診断

⑫治療施設

☐ 1.自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明
☒ 2.自施設で初回治療を開始
☐ 3.他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続
☐ 4.他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診
☐ 8.その他

⑬診断根拠

☒ 1.原発巣の組織診 ☐ 2.転移巣の組織診 ☐ 3.細胞診
☐ 4.部位特異的腫瘍マーカー ☐ 5.臨床検査 ☐ 6.臨床診断 ☐ 9.不明

⑭診断日

☒ 0.西暦 ☐ 1.明 ☐ 2.大 ☐ 3.昭 ☐ 4.平 ☐ 5.令

2025年1月6日

⑮発見経緯

☒ 1.がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 ☐ 3.他疾患の経過観察中の偶然発見
☐ 4.剖検発見 ☐ 8.その他 ☐ 9.不明

進行度

⑯進展度・治療前

☒ 400.上皮内 ☐ 410.限局 ☐ 420.領域リンパ節転移
☐ 430.隣接臓器浸潤 ☐ 440.遠隔転移
☐ 777.該当せず ☐ 499.不明

⑰進展度・
術後病理学的

☒ 400.上皮内 ☐ 410.限局 ☐ 420.領域リンパ節転移
☐ 430.隣接臓器浸潤 ☐ 440.遠隔転移 ☐ 660.手術なし・術前治療後
☐ 777.該当せず ☐ 499.不明

自施設初回治療

観血的
治療

⑮外科的

☐ 1.自施設で施行

☒ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

⑮鏡視下

☐ 1.自施設で施行

☒ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

⑮内視鏡的

☒ 1.自施設で施行

☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

⑮観血的治療の範囲

☒ 1.腫瘍遺残なし ☐ 4.腫瘍遺残あり

☐ 6.観血的治療なし ☐ 9.不明

その他
治療

⑮放射線療法

☐ 1.自施設で施行

☒ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

⑮化学療法

☐ 1.自施設で施行

☒ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

⑮内分泌療法

☐ 1.自施設で施行

☒ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

⑮その他治療

☒ 1.自施設で施行

☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

⑮死亡日

☐ 0.西暦 ☐ 1.明 ☐ 2.大 ☐ 3.昭 ☐ 4.平 ☐ 5.令

年

月

日

備考

C67.9膀胱（側壁、後壁、前壁）、Non-invasive papillary Urothelial carcinoma, low grade, pTa、BCG膀胱内注入

ご視聴いただきありがとうございました！



- ・この症例は登録対象になるの？
- ・形態コードはどれを選択したらいい？
- ・GTOLでの届出方法がわからない...



ご不明なことがあれば、
お気軽におたずねください



兵庫県がん登録室

(公益財団法人兵庫県健康財団がん登録課内)

〒651-2103 神戸市西区学園西町6丁目3-1

TEL 078-793-9340 (平日9時～17時)

E-mail : h-gantouroku@kenkozaidan.or.jp

～受講後のアンケートにご協力ください～



←アンケートはこちらから



https://apply.e-tumo.jp/pref-hyogo-u/offer/offerList_detail?tempSeq=6043

お一人様1回答の
ご協力をお願いします

今後とも全国がん登録に ご協力をお願いいたします

